



Ao Miyasaka

Contemporary Artist

PROFILE

2000年長野県松本市生まれ、東京都新宿区を拠点に活動する現代アーティスト。

狂言か表現か、今日現在を明言し現代に提言しようと2021年に初個展を開催。以降、日本を中心にニューヨークやアジア諸国で展示やショーを行い日本ではまだ広く認知されていない「テキスタイルアート」を感情や社会性を軸としたテーマで発表している。

幼少期に長野県松本市の団地で1人壁に描いていたグラフィティ体験を原点に、「心に届くものでなければ制作する意味がない」という考えのもと制作を続けている。作品制作においては、使用する生地や宝飾に関わるすべての産地を自ら訪れ、職人や関係者と直接対話しながら制作を行う。

代表作のひとつである《怒 - SHIBUYA CRANK St.-》では、日本発祥の怒りを受け入れるカルチャーが現代では殆ど存在しないことに着目し「怒れよ言い合えよ認め合えよ」という感情を渋谷センター街に設置した。

テキスタイルアートを通じて、鑑賞者それぞれの感情の昇華と対話を促し、日本文化の新たな表現の可能性を探求している。



2025 《Stay Alive!!!》



2024 《怒 - SHIBUYA CRANK St.-》

【個展】

2025

Sep. 「Ao Miyasaka 5th Solo Exhibition」 銀座 SOEI GALLERY

2023

Dec. 「溢れ出す。展」 GALLERY 表参道 ROJI

2022

May. 「Ao Miyasaka 第3回個展」 GALLERY 表参道 ROJI

Mar. 「1本の糸。展」 GALLERY 表参道 ROJI

2021

Sep. 初個展「『生』を考える。展」 生=Living, real life, heart, raw, born, create...
GALLERY 表参道 ROJI

【その他】

2021-2025年まで展示・ショーなど計50回以上の発表を重ね、2026年2月に開催される
ニューヨークファッションウィーク(アメリカファッショントレーディング協議会CFDA主催)
にて初の公式コレクションを発表。

2026

Feb. 「New York Fashion Week 26Fall/Winter Ao Miyasaka 1st Collection」

2025

Jan. 「余白のアートフェア」 福島県広野町 創造的復興を基盤とした国際展

2024

Dec. 「J-COLLABO.ORG 2024 Group exhibition」 ニューヨークグループ展

Sep. 「2024ニューヨークテキスタイルマンス」 日本の伝統文化である久留米絣を
制作されている坂田織物様主催でニューヨーク最大の纖維展示会に参加。
伝統文化と現代アートのコラボレーションとして作品制作、現地プレゼンを行う。

Sep. 「Japanese artist exhibition」 GALLERY 60 NYC, 208 E 60th St, NY 10022

Feb.-Mar. 「Shibuya Center Street ART × FASHION × MUSIC COMMUNITY ART」

渋谷センター街のど真ん中で多国籍の何百人何千人の人たちにグラフィティー体験
が出来るパブリックグラフィティーの場を作り日本のグラフィティとは?を思考。

Jan. 「New Year's Day Shibuya Center Street Art Performance」

渋谷のセンター街で2024年1月1日0:00から8時間ほどライブペイントを行う。

2023

Nov. 「DIG!SHIBUYA!」 渋谷スクランブルスクエア

Oct. 「Isetan Shinjuku 90th Anniversary Exhibition Desert Water」 伊勢丹新宿

...other 音楽アーティストやハリウッド俳優の奥様へ衣装制作を行う





Embroidery - 刺繡

2025.09

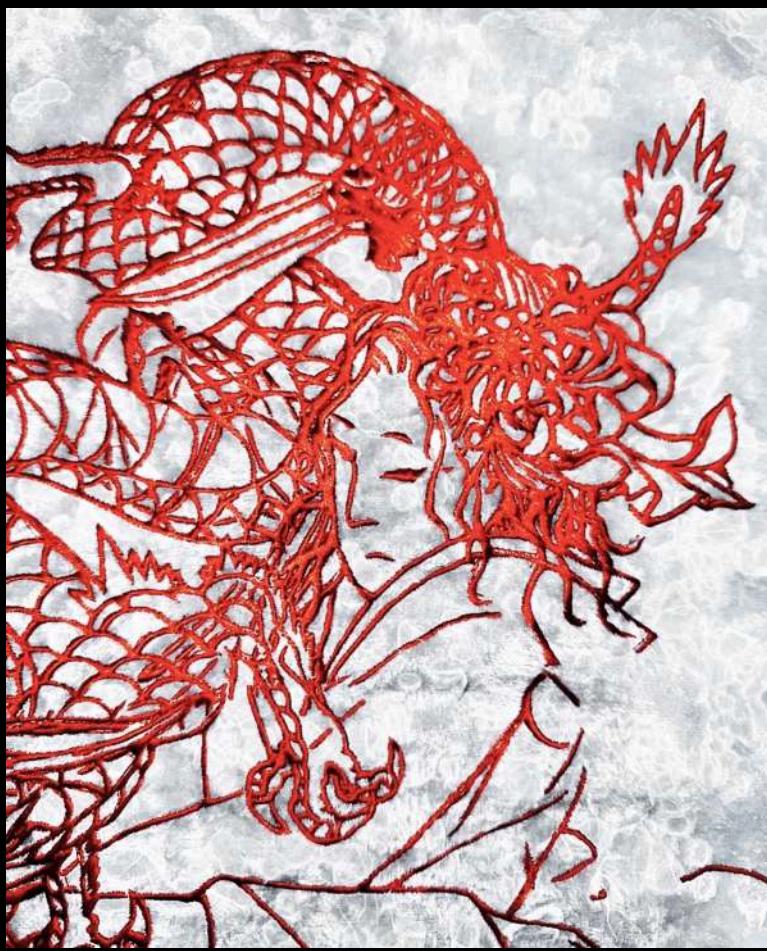
「Stay Alive!!!」 original.閻魔



Embroidery - 刺繡

2025.09

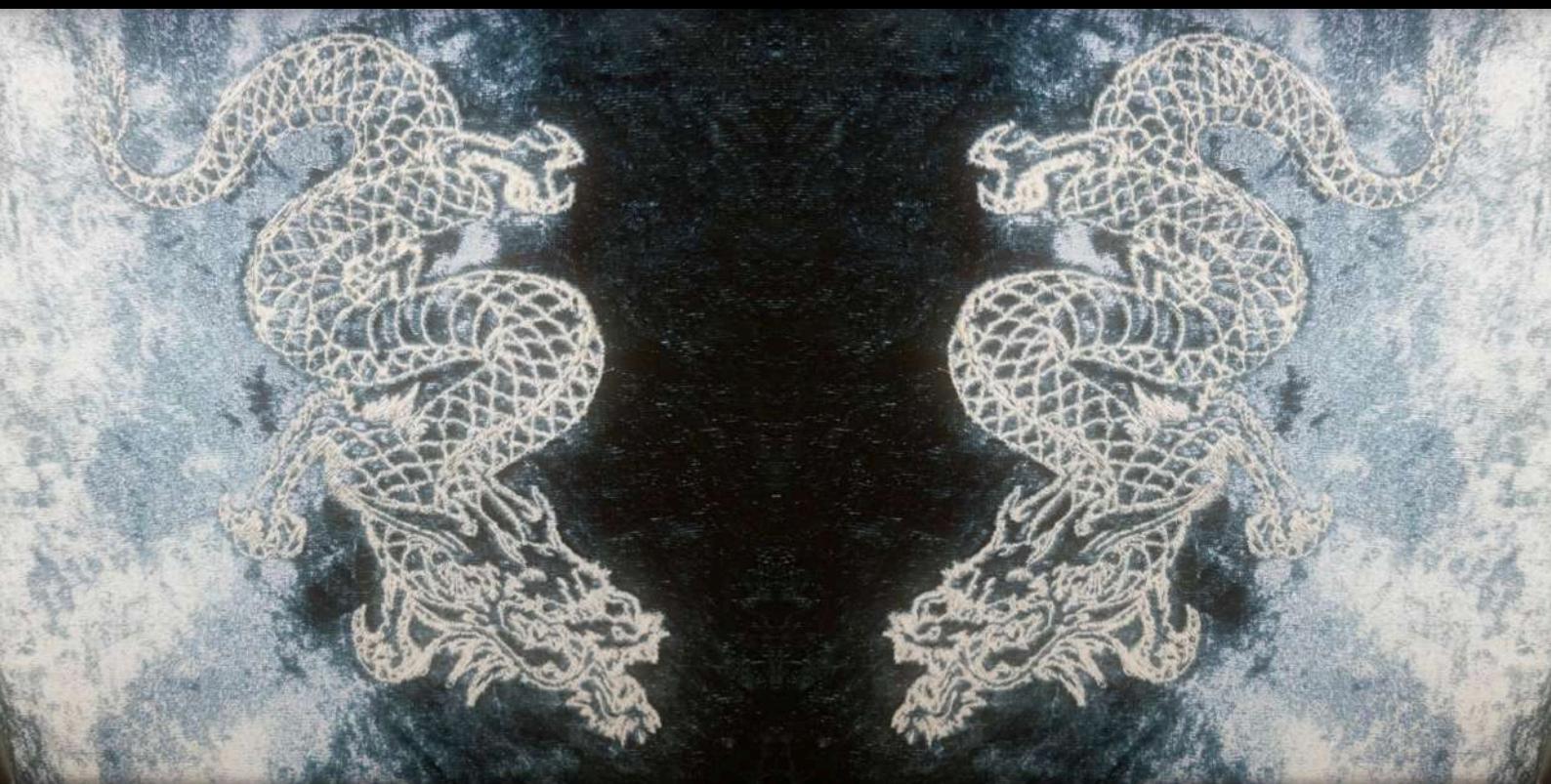
「Stay Alive!!!」 respect.月岡芳年「新撰東錦絵・鬼神於松四郎三朗を害す図」



Textile Art

右の作品に使用されている生地は福井県の織維産地にお伺いした際に倉庫に眠っていた生地。ベルベットの上に越前和紙が貼られており、NYの近代美術館(Museum of Modern Art:MoMA)に収蔵されているものを使用させていただいた。

日本の技術や伝統を重んじ顔を突き合わせ、リスペクトの上に成り立つ作品制作を行っている。



Embroidery-刺繡
2025.09



2024.01-03

「Shibuya Center Street ART × FASHION × MUSIC COMMUNITY ART」



2024.02
「怒 - SHIBUYA CRANK St. -」









2024.01.03 「SHIBUYA PUBLIC GRAFFITI」

渋谷センター街を歩く多国籍数百人の通行人の作品とモデルにライブペイントを行った作品













2023.05
「JAPAN HAIRLOSS ART」





Live paint
2023.05

This image shows a vertical strip of red ink on a dark, textured background. The red ink is applied in a dense, cursive script, likely a form of Chinese calligraphy. The characters are fluid and overlapping, creating a sense of movement and depth. The texture of the paper or fabric is visible through the ink, adding to the organic feel of the piece.



Ao Miyasaka